

見通しで、すでに27台収容できる駐車場が完成しており、現在、情報発信案内所や地域交流館、トイレの建設を発注済みとのことである。施設の内容と開業予定日、人員配置を含めた開業後の経営形態はどのようになるのか尋ねる。

A 道の駅における地域交流館については、観光名所等を知らせる情報発信のためのパソコン等を設置し、案内役の駅長を配置する予定であり、来年3月末のオープンを予定している。また、道の駅の経営形態については、当面は業務委託で取り組み、将来的には、なるべく早く指定管理者制度による運営とし、地域住民の方や関係団体と密接な連携を図りながら、地域活性化につなげていきたい。

新幹線整備費の実質負担金と回収について

城 幸太郎 議員

Q 新幹線新大村駅（仮称）周辺整備費として84億円が予定されているが、建設負担金8億円と合わせて、実際の支出は幾らになるのか。血税を投入することから、投資額を回収することは必須であるが、何年で回収することができるのか。また、諫早市との停車本

数の獲得競争になる可能性があるため、市民の協力が必要となる。新幹線特集号の発刊で市民への周知をすべきではないか。

A 新幹線新大村駅（仮称）周辺整備に伴う市の実質負担金は、現在53億円を見込んでおり、建設中の新幹線の高架橋やトンネル等の固定資産税の純増分により、30年で投資額を回収できると考えている。また、市民への周知については、庁内で調整し、新幹線特集号の発刊に取り組んでいきたい。

上諏訪の変則6差路の進捗は？

村崎 浩史 議員

Q 上諏訪・諏訪地区の変則6差路の改良に向けて、今年度は国庫補助の対象事業として採択され、測量・設計が実施されることになっている。現時点における進捗状況と今後の見通しはどのようなのか。また、地元町内会に説明する機会を必ず設けてほしいが、いつ頃になりそうか。

A 久原池田線の上諏訪地区における交差点改良工事の進捗状況については、8月に測量設計業務委託の発注を行い、年内に設計を完了する予定で進めている。ま

た、地元への説明については、来年1月初旬に実施したいと考えている。

道路に係る都市整備行政について

岩永 慎太郎 議員

Q 久原梶ノ尾線は昭和36年に都市計画道路として、久原から鬼橋までが決定され、整備されてきたが、梶ノ尾ルートが中止となった経緯と、これに代わる松原方面への生活道路の計画はどのようなのか。また、新図書館建設に伴うJR大村駅前～西本町線の整備計画や、郡川堤防の管理道路を防災や散策道など、多目的道路として整備できないか。

A 久原梶ノ尾線については、郡川以北は用途地域が未指定であるため、県の都市計画事業は困難であり、用途地域内である沖田町が終点となった。また、松原方面への道路整備については、既設市道を含め、将来計画として検討することも必要になると考えている。また、大村駅前の道路整備については、駅前から八幡神社交差点までの歩道拡幅等を計画している。また、郡川堤防の管理用道路については、河川管理者である長

崎県と協議を行い、整備内容等を検討したい。



行財政・一般

地縁団体のこと

中瀬 昭隆 議員

Q 地縁団体横山頭町内会の清算は、清算人が行い、代行することができない。清算人である町内会長自身は関与していない。市職員の住民が清算人に相談せずに行ったことが判明した。手続きのための書類は裁判所へ提出し、指導監督を受けることが必須であるが、市に提出し、市から裁判所へ提出された。裁判所は、公文書において指導監督はしていないと回答している。この事実をどのように考えるか。

A 当該地縁団体清算手続きについては、団体の中で処理されたいこと、当該市職員は町内会の一員ということで、行われたものと思っている。また、当該地縁団体の認可業務も含めて、認可から解散まで適切に行われていると市は考えている。